

功労者・永年勤続者表彰式

11月19日(木)、石川県地場産業振興センターにおいて「第51回功労者・永年勤続者表彰式」を開催し、受賞された功労者表彰6名、勤続30年表彰71名、勤続20年表彰69名、勤続10年表彰113名の計259名の方々に表彰状と記念品が授与されました。

竹田副会長は式辞で「人手不足が深刻となっている中、時間と手間をかけ人を育てる我々業界に関係各位のご理解・ご支援をいただきたい、また受賞者の皆さんには、これからも業界の牽引役となっていただきたい」と感謝と励ましの言葉があり、谷本知事より「石川県の基幹産業で当地の経済を引っ張っている鉄工機電業界の大事な部分を担い、支えておられるのは本日受賞される皆様である」とお祝いの言葉を頂戴しました。なお、来賓を代表して、西田県議会副議長、濱田金沢副市長からご祝辞をいただきました。終わりに受賞者を代表して(株)小松製作所の辻則康さんが謝辞を述べられました。

なお、表彰式に先立ち記念講演会を行い、健康運動指導士の元橋美津子さんより「身体とところの安全管理～健康診断から学ぶ～」と題して、健康を維持するために、日常生活に取り入れやすい運動や食品からとれる栄養素をバランスよく摂取する方法等を解説していただきました。



海外経済視察レポート (in イタリア・ミラノ/ドバイ)

開催日：平成27年10月7日(水)～14日(水)

視察先：ミラノ (EMO MILANO2015、Giuseppe Giana S.p.A、Endress+Hauser Italia S.p.A、Sirca International S.p.A、ミラノ国際博覧会)
ドバイ (JETRO ドバイ事務所)

参加者：17名 (団長：山本洋志国際委員長
(アサヒ装設(株)社長))



ヨーロッパへのハブであるドバイとイタリア・ミラノへ経済視察を行いました。ジェトロドバイ事務所を訪問し、昨今劇的な成長を続ける当地の経済状況について話を伺い、ミラノでは世界四大工作機械見本市であるEMOショー (世界35カ国・地域から約1400社出展、うち日本から71社出展)を見学し、中国・台湾・韓国の中小無名メーカーが多数出展していることに驚きました。また、会員企業のご紹介によりミラノの現地企業3社を訪問し、各社独自の技術・ノウハウを生かし、会社を発展させていると感じました。

中国機械市場販路開拓商談会 in 上海

11月26日(木)に石川県と共催で中国・上海 (会場：古北湾ホテル) で「機械市場販路開拓商談会」を開催しました。中国へ進出している県内の機械関連企業8社 (石川可鍛製鉄(株)、金沢機工(株)、コマツ産機(株)、高松機械工業(株)、(株)タガミ・イーエクス、東亜電機工業(株)、(株)白山機工、ホクショー(株)) が参加し、中国の機械部品メーカーや商社など60社と約100件の商談が行われ、製品の見積依頼や後日の面談の約束があり、会場は新たなビジネスチャンスを求める参加者の活気につつまれました。



海外展示会出展レポート

METALEX VITNAM2015 (in ベトナム・ホーチミン)

開催期間：平成27年10月8日(木)～10月10日(土)

ベトナム・ホーチミン（会場：Saigon Exhibition & Convention Center）で開催された「METALEX VIETNAM 2015」（30カ国から約500社出展、うち日本から108社出展）に今回初めて協会としてブースを設けて出展しました。協会ブースで5社（澁谷工業(株)、高木鉄工(株)、玉田工業(株)、(株)徳野製作所、松本機械工業(株)）が出展したほか、高松機械工業(株)も単独で出展されていました。



来場者数はタイ、インドネシアと比べると1万4千人程度と少ないですが、今後に繋がる有意義な商談ができました。

METALEX2015 (in タイ・バンコク)

開催期間：平成27年11月18日(水)～21日(土)

タイ・バンコク（会場：BITEC）で開催された「METALEX 2015」に4回目となる出展を行いました。7社（(株)江沼チェン製作所、かがつ(株)、(株)小林製作所、高木鉄工(株)、(株)徳野製作所、白山機工(株)、メカトロ・アソシエーツ(株)）が出展したほか、会員企業5社（京町産業車両(株)、高松機械工業(株)、津田駒工業(株)、シシクアドクライス(株)、松本機械工業(株)）が別途出展し、来場者と活発な商談が行われました。



MANUFACTURING INDONESIA 2015 (in インドネシア・ジャカルタ)

開催期間：平成27年12月2日(水)～5日(土)

インドネシアでは最大級の規模を誇る産業工作機械及び工具の総合見本市「MANUFACTURING INDONESIA」に今回3回目となる出展をしました。今年26回目の開催ですが、世界36の国と地域が参加し、2,123社（うち日本からの出展は約250社・団体）が出展しました。

協会ブースには5社（(株)小林製作所・澁谷工業(株)・高木鉄工(株)・(株)徳野製作所・松本機械工業(株)）が出展したほか、会員企業4社（高松機械工業(株)、津田駒工業(株)、シシクアドクライス(株)、(株)江沼チェン製作所）が別途出展し、熱心な商談が行われました。



なお、景況は中国経済の停滞により落ち込んでいますが、政府では今年9月に工場建設の許認可の簡素化、部品材料の輸入要件の緩和政策を打ち出しており、今後改善が見込まれています。

経営技術指導委員会・新分野進出委員会合同視察会（長野県）

開催日：平成27年10月29日(木)～30日(金)

視察先：伊那食品工業(株)、(株)コシブ精密、(株)エグロ

参加者：19名

異業種の伊那食品工業(株)は社員全員が「いい会社をつくりましょう」という理念のもと働いており、各方面から注目を浴びています。また各種回転軸エンコーダ用のスリット板を製造している(株)コシブ精密は国内シェア50%以上を有し、マイクロ・ナノの世界のエキスパートとして様々な分野で活躍しており、小型工作機械製造の(株)エグロは、50年というロングセラーの精密汎用高速旋盤に加え、精密複合切削加工の更なる技術創出に取り組んでいます。

参加者は、見学を通じて見識を深めることができ、今後の経営に活かしていきたいとの感想でした。



医療健康機器研究会【メディカルクリエーションふくしま2015出展】

平成27年11月11日(水)～12日(木)に福島県郡山市で開催され、日本・韓国・ドイツより計235社・団体が出展し、入場者は3,800名を数えた「第11回メディカルクリエーションふくしま2015」に協会として4回目の出展を行いました。

医療健康機器研究会メンバーを中心に9社（オリエンタルチエン工業(株)、(株)金沢エンジニアリングシステムズ、(株)東振テクニカル、中村留精密工業(株)、(株)本螺子製作所、(株)ヨシダセイコー、ライオンパワー(株)等）が出展し、来訪した約300社と熱心な面談・商談を行い、各社のアフターフォローにより具体的な商売への展開が期待されます。

また、11月16日(月)に「第2回医療健康機器研究会」を鉄工会館で開催し、秋田県産業労働部 斉藤主幹と(株)アトラス眞田社長のお二人から「秋田県の医療機器への取組・施策」等についてご紹介いただきました。



工業系高校教員&モノづくり企業懇談会

開催日：平成27年12月9日(水)

会場：石川ハイテク交流センター

参加者：モノづくり企業29名、教員8校22名

石川県内工業系高校教員とモノづくり企業との懇談会を開催し、企業2社（(株)東振精機、(株)トランテックス）からデュアルシステムの実例を紹介後、2班に分かれ「入社後の定着させるための対策」「デュアルシステム（10日間程度の企業実習）のあり方」「女性の活用」について意見交換を行いました。

「入社後の定着させるための対策」では企業側から新入社員とのコミュニケーションの取り方を、学校側からは就職前の企業研究などの紹介があり、「デュアルシステムのあり方」では各校が通勤や予算の問題がある中での実施企業の開拓について、特に小松工業高校では実施企業からのアドバイスで独自に他の科のデュアルシステムも行っているとの説明もありました。

また、懇談会開催前に高校側からの要望により高松機械工業(株)へ工場見学を行いました。

なお、企業側から「石川県にはモノづくり企業が多いが、工業高校が少ない。優秀な工業高校生を増やすために定員増などの措置がとれないか」との意見があり、協会として石川県へ要望を行うことになりました。



第1回ビジネスサポートスクール「中小企業の事業承継について」

開催日：平成27年11月10日(火)

会場：石川県鉄工会館2階会議室

テーマ/講師：

- ・ 中小企業の事業承継のロードマップと税制について
永井奈緒美 氏（税理士、石川県よろず支援拠点
サブコーディネーター）
- ・ 石川県事業引継ぎ支援センターの事業について
中野 学 氏（石川県産業創出支援機構専門担当員）



参加者：20名

高度成長期に創業した社長さん達が一線を退く時代に入り、多くの企業が事業承継に悩んでいるのが実情です。平成27年1月から相続税の変更もあり、特に中小企業株の承継が問題視されています。

今回は、如何に非上場企業の中小企業の皆さんが事業承継に取り組むべきか、その事業承継のケーススタディと対策のロードマップについて実例を示してお話いただきました。

第2回ビジネスサポートスクール「TPP、EPA、FTAの活用法について」

開催日：平成27年11月30日(月)

会場：石川県地場産業振興センター

テーマ：ものづくり産業が恩恵を享受する TPP の概要と効果的な活用方法

講師：中山 保宏 氏（経済産業省経済連携課課長補佐）
樋口 壽男 氏（中小企業基盤整備機構国際化支援シニアアドバイザー）
末廣 徹 氏（日本貿易振興機構金沢貿易情報センター所長）



参加者：60名

経済規模で世界の約4割を占める環太平洋連携協定（TPP）の関税に関する合意内容や中小企業の海外展開の具体例から「これまでにない技術や大企業との連携、製品の保守点検で TPP の効果的な活用」を、また EPA、FTA や東アジア地域包括経済連携（RCEP）の動きも説明され、国際ビジネスを取り巻く環境が大きく変転することへの理解を深めました。

東大先端研セミナー

開催日：平成27年12月18日(金)

会場：石川県鉄工会館2階会議室

テーマ：日本のモノづくりの進むべき道

～「スピード経営」で競争を勝ち抜く～

講師：西岡 潔 氏（東京大学先端科学技術センター 特任教授）

参加者：35名



日本のモノづくりが今後どのような方向に進んでいくべきかを現在の世界の動きを踏まえ、高機能・高品質が求められる鉄鋼厚板生産における仕掛品を減らすスピード経営の実現（全体最適化）事例を基に「時間を基軸とした経営」について、また、国家プロジェクトでもある「我が国における最先端材料開発の動向」についてもお話しいただきました。

青年部会だより

10月22日(木)～24日(土)、沖縄経済視察を開催し、澁谷工業(株)の100%子会社である(株)沖縄先端加工センターと鉄スクラップ業を営む拓南製鉄(株)、拓南商事(株)を見学しました。

国内で唯一の経済特区であり東南アジアの主要都市との結節点として地理的に有利な場所である沖縄の最近の業況等直接確認することができました。

また、11月25日(水)には第2回次世代経営者育成講座として、異業種の(株)青郊にお伺いし、北野啓太社長にご講話いただきました。



平成27年度 研修スケジュール(予定)のご案内

	きてんスクール		技能継承スクール 共催：ポリテクセンター	
1月	22日(金)	なぜなぜ分析でクレーム撲滅 受講料：3,000円	13日(水) ～14日(木)	半自動アーク溶接実践技術② 受講料：8,000円
			26日(火) ～28日(木)	有接点シーケンス制御の 実践技術 受講料：6,000円
2月	17日(水)	生産技術の考え方・進め方 受講料：3,000円	16日(火) ～18日(木)	有接点シーケンスによる 電動機制御の実務 受講料：7,000円
3月	18日(金)	ヒューマンエラーと仕事のポカミス対策 受講料：3,000円		

デザイン技術研修会	
1月	22日(金) 商品を売り込む講座 (営業販売担当向け) 受講料：無料

技術セミナー (基礎編)			
3月	初旬	鋳物概論	受講料：2,000円

詳しくはホームページでもご覧いただけます。
URL：<http://www.tekkokiden.or.jp>

平成27年度 協会スケジュール

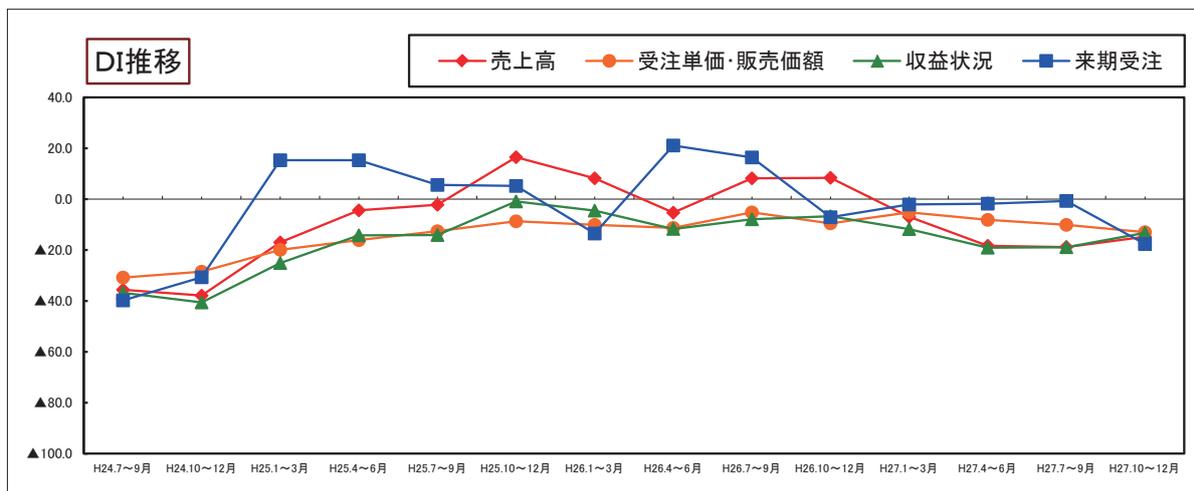
開催日	内容
会 議	
1月15日(金)	総務・事業企画合同委員会
1月28日(木)	正副会長会議、理事会
2月18日(木)	見本市委員会
2月25日(木)	国際委員会
3月 3日(木)	広報・情報委員会
行 事	
1月19日(火)	石川県知事及び金沢市長へ平成28年度予算要望
1月28日(木)	平成28年新年会員懇親会
2月17日(水)	工業系高校優良卒業生表彰式
2月24日(水)～26日(金)	関西医療機器開発・製造展出展
2月25日(木)	国際講演会
3月 6日(日)～10日(木)	海外経済視察 (中国・上海近郊)

DI調査結果（平成27年10－12月期）

概況総括：『今期は持ち直しの動きがあったが、先行きは慎重な見通しが強まっている』

【調査概要】

- 今期（平成27年10-12月期）の業況調査DI12項目では、プラスDIは「原材料単価」15.0（前回2.1）、「生産設備」0.4（前回4.4）の2項目（前回2項目）である。
- 現在の経営状況を示す「売上高」から「生産設備」までの9項目では、
 - 景況感を端的に表す「売上高」▲14.7（前回▲18.8）は、ものづくり補助金等の影響による生産設備関連の好調等でやや改善した。
 また、「収益状況」▲13.3（前回▲18.9）、「資金繰り」▲5.4（前回▲6.6）も同様に改善した。
 「原材料単価」15.0（前回2.1）については、原油安、資源価格の低迷を反映して大きくプラスとなった。
 一方で、「受注単価販売価額」▲13.0（前回▲10.1）、「取引条件」▲3.2（前回▲2.8）は前回に引き続き下降傾向にある。
 - 現場の繁忙さを表す指標では、「操業率」▲0.4（前回▲7.3）、「受注残」▲6.0（前回▲7.0）は改善しており、一部の企業は仕事量を確保している。
 「生産設備」0.4（前回4.4）はプラスを維持している。
- 「来期受注」▲17.6（前回▲0.7）、「来期採算」▲17.6（前回▲10.1）、「来期資金繰り」▲11.9（前回▲7.7）は3項目ともに減少・悪化となっており、先行きについてはより慎重な見通しが強まっている。
- 「企業経営上の悩み」については、「受注不安定」44.2（前回48.2）、「人材不足」25.2（前回25.9）が高止まりしている。
- 今期は、ものづくり補助金による生産設備関連で若干の動きがあり、前期よりもやや改善した。
 また、一部業種（工作機械、車両、建設資材関連等）では依然繁忙状態が続くところもある。
 一方で、中国・新興国経済の減速等により、伸び悩む企業もあり、石川県内製造業の景況は引き続きまだら模様である。
 先行きについてもより慎重な見通しが強まっており、平成27年度補正予算による政策効果を期待したい。



◆野崎常任理事が黄綬褒章を受章

平成 27 年秋の褒章で当協会常任理事の野崎雅暉氏 [かがつう(株)代表取締役会長] が黄綬褒章を受章されました。

野崎氏は、ニッチ市場である「情報通信」、「照明」、「精密電子部品」、「システムサービス」分野での国内トップメーカーとしてモノづくり筋に打ち込んでこれられるとともに、当協会の常任理事をはじめ各種団体の要職にあつて、業界の発展に貢献されてこれられました。

i 会員情報 平成 27 年 12 月 15 日までにお寄せいただいた内容を掲載しています。

◆社名の変更

新社名	旧社名
FKK(株)	熱機プラント技術(株)
OKK(株)北陸営業所	大阪機工(株)北陸営業所

◆代表者の変更

社名	新代表者名	社名	新代表者名
FKK(株)	福光琢也	富士工業(株)	越村清史
(株)浜田鉄工所	浜田 晃	(株)北菱	谷口直樹

◆住所変更

社名	新住所	TEL/FAX
荏原商事(株)北陸支社	金沢市長町 2-7-1	076-263-4161/076-223-6485
(株)片桐商会	金沢市東力 4-1 ダイワレジデンスビル 101	076-259-1381/076-259-1391

◆MEX金沢 2016 情報 (<http://www.tekkokiden.or.jp/mex>)

●MEX金沢 2016 の出展者を募集しております。

【申込締切：平成 28 年 2 月 29 日(月)】

また、応募総数 202 点からキャッチコピーが決定いたしました。

優秀賞「ここで発見 明日へつながる新技術」

思い：参加企業の素晴らしい技術をより多くの人に知ってもらい、
更なる発展につながることを願って。

作者：(株)石川製作所 亀田達磨



◆トップリーグ挑戦を応援しよう!! -石川から全国へ-

(株)PFU 所属のバレーボールチーム “BlueCats” がトップリーグの V リーグを目指し、V チャレンジリーグに挑戦中です。

詳しくはホームページをご覧ください。 <http://www.pfu.fujitsu.com/bluecats/>

i ホームページのご紹介



●協会ホームページ
<http://www.tekkokiden.or.jp>



●MEX 金沢
<http://www.tekkokiden.or.jp/mex>



●金沢港ビジネス情報サイト
<http://www.knz-port.jp/>